

労働市場の概要（平成26年12月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

平成26年12月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.39倍となり、前月に比べ0.02ポイント低下。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)が2.5%減少し、有効求職者数(季節調整値)でも1.3%減少した。また、新規求人数(季節調整値)が8.9%増加し、新規求職者数(季節調整値)でも4.5%増加した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、製造業(6.8%増)、宿泊業・飲食サービス業(6.0%増)で増加したものの、建設業(14.5%減)、運輸業・郵便業(1.7%減)、卸売・小売業(13.9%減)、医療・福祉(3.3%減)、サービス業(他に分類されないもの)(54.7%減)で減少し、全体でも対前年同月比12.4%減と2ヶ月連続で減少した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で5.6%減と25ヶ月連続で減少した。有効求人倍率(季節調整値)は、前月に比べ0.02ポイント低下したものの、前年同月と同水準。県内の雇用情勢は改善しているものの、労働力需給の逼迫状況はやや緩和している。

1 有効求人倍率(季節調整値)

12月の有効求人倍率は1.39倍となり、前月に比べ0.02ポイント低下。
〔過去最低:昭和38年1月の0.51倍〕

(1)有効求人(パートを含む)

○ 12月の有効求人は43,207人で、対前年同月比(原数値比較)で6.5%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも2.5%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で2ヶ月連続減少となった。

(2)有効求職(パートを含む)

○ 12月の有効求職は28,663人で、対前年同月比(原数値比較)で6.7%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも1.3%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で23ヶ月連続減少となった。

(3) 12月の正社員の有効求人倍率は1.03倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

12月の新規求人倍率は2.01倍となり、前月に比べ0.08ポイント上昇。

(1)新規求人(パートを含む)

○ 12月の新規求人は14,253人で、対前年同月比(原数値比較)で12.4%減少し、対前月比(季節調整値比較)では8.9%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)では2ヶ月連続減少となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業 14.5%の減少(4ヶ月連続で減少)

製造業 6.8%の増加(2ヶ月ぶりの増加)

運輸業・郵便業 1.7%の減少(4ヶ月連続で減少)

卸売・小売業 13.9%の減少(3ヶ月ぶりの減少)

宿泊・飲食サービス業 6.0%の増加(2ヶ月ぶりの増加)

医療・福祉 3.3%の減少(2ヶ月連続で減少)

サービス業 54.7%の減少(5ヶ月連続で減少)

(2)新規求職(パートを含む)

○ 12月の新規求職は5,700人で、対前年同月比(原数値比較)で5.6%減少し、対前月比(季節調整値比較)では4.5%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は25ヶ月連続の減少となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は557,612人で、対前年同月比1.6%の増加となり、60ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は、7,077人で対前年同月比は7.3%減少し、受給率は1.3%であった。